

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	危険という理由で施錠されているが、現時点では徘徊等の方は居ない為、施錠を外す取り組みに今後期待したい。	利用者の安全を第一に考えながら、鍵の開放に向けての取り組みができる。	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットの利用者の行動や考えられる危険な箇所についての話し合いを行った上で、ユニットドアの開放できる時間帯の検討を行う。(玄関ドアは、自動ドアであり開放されている。) また、玄関ドアの開閉センサーの変更や人感知センサー音の使用が可能かどうか検討を行う。 	12か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。